

素案

邑南町第3次総合振興計画

地域とつながり、挑戦を育む町



邑南町

# CONTENTS

---

## 本編

総合振興計画策定にあたって

① 計画を策定するうえでの基本的な考え方

② 計画の位置づけ・期間・構成

01 邑南町の現状

02 次の10年で目指す方向性

03 次の10年を指し示す理念

04 邑南町が目指す姿に近づくための取り組み

① 人口面での目標設定およびKGI

② 10年後の町の姿

③ 4つの柱

05 施策体系図

06 戦略的重点プロジェクト

07 ひとを育てる

08 しごとを伸ばす

09 くらしを守る

10 つながりを深める

11 推進体制・検証方法

12 重要目標と施策等の対応表



# 計画を策定するうえでの基本的な考え方

## 1 新しい10年を描く計画

新型コロナウイルス感染症によるパンデミック、局地的な自然災害などの発生、AI等に代表されるようにテクノロジーの急速な進化など、予測困難な時代に突入しています。次の10年は、これまでとは一線を画す時期を迎えることを踏まえて、邑南町の「良いところ」や「強み」を活かした、「10年後にこうなっていたい」を描きました。10年後の将来像を達成するために必要となる取り組みを構想して策定しました。

## 2 町民と行政の協働による計画

本計画は、町が打ち立てた次の10年で目指したい場所に旗を立てたものであるとともに、行政と地域運営組織・町民が協働して進んでいくための羅針盤となります。無作為選出による「住民会議」、多様な関係者へのヒアリング、小・中学生のメッセージ集約、計画審議会等を通じて、町民の皆様が共感できる計画としました。また計画策定後も、折にふれて見ていただけるような紙面構成としました。

## 3 効果検証可能な計画

10年を期間とする本計画には、4つの柱と27の取組方針を掲げています。新たに描いた10年の計画がどのように進捗し、町民の皆様の幸福度や満足度に寄与したかどうかを検証できるように、指標を開発しました。毎年度、WEBアンケート調査（おおなん活力インデックス=ODI）や「住民会議」に参加していただくことで、本計画が検証可能となり、本当の意味で計画として完成します。町民と行政の協働によるまちづくりを検証しながら進めることができる計画となっています。

おおなん活力インデックス（ODI）とは... 総合振興計画で掲げる施策等による効果を測定するための指標で、アンケート調査を通じて町民目線で評価する手法を取り入れました。

# 計画の位置づけ・期間・構成

## 1 計画の位置づけ

邑南町第3次総合振興計画は、今後の施策運営の総合的・基本的な指針として、町の最上位の行政計画と位置付けるものです。また、本計画は、まち・ひと・しごと創生法第10条に基づく「市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略」にあたる「邑南町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を包含した計画とします。邑南町の目指すべき将来の姿を明らかにするとともに、今後10年（令和8年度（2026年度）～令和17年度（2035年度））の目標や施策の基本的方向を示しています。

## 2 計画の期間

本計画の期間は、令和8年度（2026年度）～令和17年度（2035年度）までの10年間です。ただし、5年後の計画の中間年である令和12年度に必要な見直しを行うこととします。また、国の総合戦略等の策定や改定に合わせ、必要に応じて改定を行います。

## 3 計画の構成

本計画は、邑南町のまちづくりの基本理念や基本理念のもとに邑南町が目指す姿に近づくための取組みおよび施策体系や方針、施策の方向性を示した「基本構想」と具体的な事業を示す「実施計画」により構成します。

○基本構想・基本計画【本編】＝計画期間10年間

まちづくりの基本理念や基本理念のもとに邑南町が目指す姿に近づくための取組みや方針、施策の方向性を示すもの

○実施計画【別冊・資料編】＝計画期間5年間

基本構想・基本計画を実現するための取組みを具体的に示すもの



# 01

## 邑南町の現状

邑南町の現状

### ひと 教育・文化・交流

- 子育て環境が地域に根づいている
- つながりや地域全体で子育てを見守る環境がある
- 自然や歴史文化が豊かである
- 子どもたちに明るさ、発想の豊かさがある

### しごと 産業・雇用・就業環境

- 豊かな自然、資源がある
- 農業に対する官民協力の姿勢がある
- 静かな生活環境がある
- 広島との近さから、観光・産業等での連携がある

### くらし インフラ・自然環境

- 石見養護学校、矢上高校など教育施設が立地している
- 広島都市圏へのアクセスの良さがある
- 豊かな自然と水やお米などの美味しい食材がある
- 豊かな文化芸能、地域行事が今も息づいている
- 見守り、移動販売等の共助の仕組みがある

### つながり コミュニティ・防災・防犯

- ご近所同士の互助の文化が今も根付いている
- 医療福祉施設が充実している
- 人との強いつながりがある
- UIターンの受け入れ体制がある
- 世代を超えたつながり、アットホームな雰囲気がある

# 02 次の10年で目指す方向性

計画の方向性

邑南町の10年後の未来を考える「邑南町第3次総合振興計画」の策定にあたり、わたしたちは、より多くの声を取り入れるため、地域住民への意識調査や無作為選出による「住民会議」を実施しました。そこで浮かび上がってきたのは、「地域とのつながり」、そして「挑戦」というキーワードでした。

子育てや福祉、産業の面でも「地域とのつながり」は、邑南町にとっての大きな強みです。また、大人たちが新たな取り組みやビジネスに挑戦する姿に触発され、子どもたちも「自分たちもやってみよう」と挑戦する姿勢を見せてくれます。

わたしたちは、安心して暮らせる環境こそが、地域に更なる挑戦と活気をもたらしてくれると考えています。そこで、次の10年で目指す方向性や大切にしたい考え方を次のようにまとめました。



# 03 私たちの理念

計画の理念

## 地域とつながり、挑戦を育む町

邑南町には、暮らしの中に温かな「つながり」が息づいています。地域での子どもの見守りや住民活動も活発で、高齢者を思いやり、支え合う互助の精神が今も受け継がれています。こうしたつながりは、ときに「しがらみ」とも捉えられ、若者が地域から離れる要因になることもあるなど、必ずしも肯定的な評価だけを受けてきたわけではありません。しかし、次の10年、わたしたちは改めて「地域とのつながりがあることの安心感」を大切にしたいと考えています。その上で、これまでの取り組みを次の世代へと引き継ぎ、新たな挑戦が生まれるための「安全な暮らし」の基盤を整えていきます。

暮らしという「土」を耕し、可能性という「種」を蒔く。

つながりという「根」に支えられ、一人ひとりの挑戦の「芽」を育てていく。

邑南町は、そんなまちづくりを進めていきます。